

親日国台湾の大らかさ

日台の交流の大切さ

皆川 榮治

一般的に日本人の台湾に対する認識は高いとは言えません。私の経験では、台湾について多少でも知識のある方は日本人の10%程度だと言って良いのではないかと考えています。

しかし71年前までは台湾は日本が統治していたのであり、統治の末期には住民は日本国民として選挙権も与えられていました。

とはいっても、かつての私自身も台湾に対する認識はお粗末なもので、ほとんど知らない状態でした。28年前に会社から台湾赴任を命ぜられ、1988年5月24日に来台し3年半の赴任生活を通して台湾と台湾人に接するようになり、次第に認識が変わってきました。

まず初めに気づいたことは、台湾人は日本語のできる人が多いということです。続いては日本に対して好意を持っている人が多いということでした。

日本の統治時代は1895年に始まり1945年迄の50年間です。それは西洋の植民地とは全く異なるものでした。西洋諸国の植民地では、その地の特産物を自国に持ち帰って利益を上げる対象にした国が多かったのですが、台湾では植民地扱いせず、日本国内とまったく同様に扱い、同じ国土・国民にしようとしたところに特徴があります。従って日本語教育も徹底して教えました。元来の台湾語の使用も認めていました。また国土の強化についても、日本国内の多額の資金を投入して台湾の国家建設を行い、統治開始40年後には台湾独自で黒字国になっていました。これは総督を中心とする総督府が建設に邁進した結果です。

私が台湾に来て、会社の従業員・幹部たちと関わってきた中で最も感じたことは、「台湾の方々には日本のことを本当に親しく感じてくれている、」ということでした。会社の幹部が私に親切にしてくださるのは地位のなせる業でもあります。それだけでなく人へのかかわりが深いことです。

例えば電車に乗っても席を譲ってくれる風景は日常茶飯事です。私は毎日のように電車に乗って事務所を往復していますが席を譲られることは度々です。12分ほどの通勤時間に座れない日



台湾総統府（日本統治時代に日本政府が建てた建築）

はありません。日本の電車にはお年寄りに席を譲るよう書いてありますが、実践する人は少ないように感じます。若い人でもお年寄りが前に立っていてもスマホに専念して見て見ぬ振りが多いようです。日本には敬老の日という祝日がありますが、台湾にはありません。毎日が敬老の日です。お年寄りを敬うという心は日ごろから身に着いたものでなければなかなか実践できるものではありません。

このような台湾での良い習慣は、戦後の国民政府の来台によってもたらされたものではなく、71年前の日本統治時代の名残りだと言えます。

つまり、日本統治時代は人と人との思いやりの精神があり、隣組の協力関係や助け合いの精神が根づいていたと言えます。これは日本統治時代の方々を中心に、今に残っていると考えられます。

また現代の若者にも「日本統治時代の台湾への貢献」について高く評価する心があり、産業の発展や稲作を始めとする農業開発が台湾で進んだのも、国家基盤を作るという総督府の業績によるものと高く評価しています。

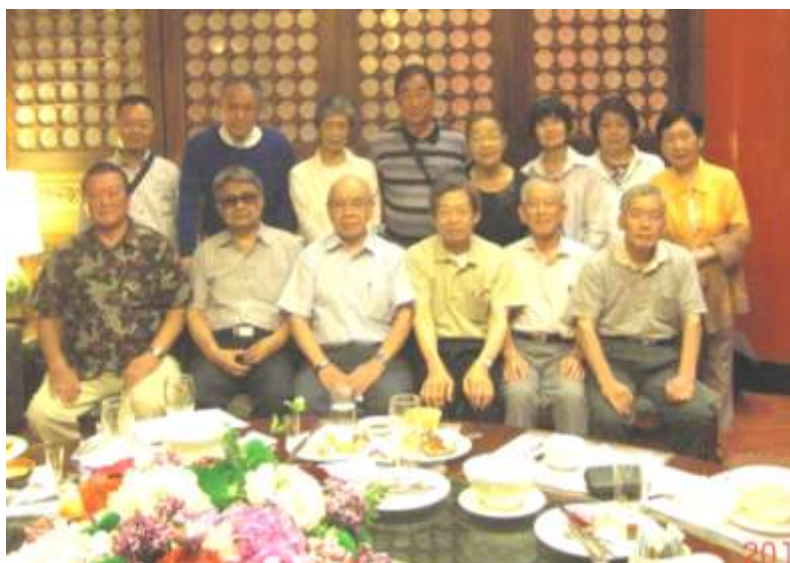
戦後の国民党政府は、この日本統治のインフラ建設の上に立って国家建設がなされたと言って良いでしょう。

しかし当時の台湾人たちは、これを決して高く評価していませんでした。戦後、日本統治が終わって国民党が台湾に入って来てすっかり変わった台湾統治の仕方に「こんなはずではなかった」との思いに駆られることとなります。その反動として「それまでの日本統治の方がはるかによかった」ということになったのです。統治されている立場からすれば税金も取られ堅苦しく、警察もいて締め付けられていた統治時代がうるさく感じていたのですが、国民党の統治では決まった制度以外に賄賂の要求が茶飯事であるばかりか、統治時代の高学歴者には反政府的として逮捕監禁と言う時代へと急変したことが、日本時代を評価することにつながるのです。その結果、台湾の方々には日本人や日本のことが今でもよく思っているということにつながったと言えるのです。(了)

ネイティブヘルスでは、3回、台湾旅行を実施しました。

現在、統治時代の人達は80歳を越え、かなり少なくなってきました。

NH企画の台湾旅行では、毎回、統治時代を体験した方たちとの交流会をしています。



張文芳先生・郭振純先生との交流会（圓山大飯店にて2016年9月10日）

『台湾旅行の思い出』

馬越 美代子 (神戸市)

9月9日(金)～9月12日(月)の3泊4日の旅に行ってきました。

行くと決めた3ヶ月前から出発の日までカウントダウンして、元気に行って帰ってこられるように、又、家族の事も心配なく、楽しんで旅行ができるように、と祈っての毎日でした。

お陰様で本当に楽しい旅ができました。

いよいよ9月9日(金)関西国際空港から桃園空港に着きました。

ホテルは3日間、同じ「ホテルリビエラ」で、落ち着いて過ごせました。

ここは、大規模ホテルではないので家族的でスタッフの皆さん親切で、日本語ができる方もいて快適に過ごせました。日本のホテルに比べて部屋も広く素敵なホテルでした。

旅で一番印象に残っているのは、9月11日(日)に行った、タイヤル族の舞踊と歌です。民族衣装がとてもかわいらしく、結婚式の踊りも有り、途中で私と秋窪さんが舞踊団の中に入れられて、花輪と衣装をつけてもらい結婚式をしました。最後の踊りでは全員参加でとても盛り上がり、みなさん童心に帰り、心がひとつになったように思いました。

原住民の人たちは心から歓迎して私たちをたのしませてくれました。

お食事は全て満足。

初日はホテル近くの台湾料理。ビールで旅行の無事を祈って乾杯。

2日目は圓山ホテルの豪華なバイキングでつい食べ過ぎてしまいました。ここでは特別に1室を借りきって二人の先生と共に14人が大きな円卓を囲んでとても和やかに楽しいひと時でした。

3日目は、原住民タイヤル族の食事。

そして最終日は四川料理でした。四川料理はとても辛いのが普通ですが、私たちの為に

辛さを抑えたものを注文して下さりとてもおいしかったです。

総じて、皆さん良く食べ良く飲みました。(私はほんの少しのビールです。)

この旅行で太った!という方もおられました。

烏来温泉は、二人ずつの個室で、浴槽とシャワールームが別にある、ソファのある休憩室でゆっくりできました。温泉も自分でお湯を出して入るので、とても清潔です。湯質は肌がつるつるして気持ち良かったです。

この旅行で皆様から多くの元気をいただいて帰れた事を感謝しています。

良い企画を本当にありがとうございました。



タイヤル族記念館で
手作りした人形



旅行中、車いすを2台借り、馬越さんと今田さんにはすっかりお世話になりました。感謝 感謝!!
有難うございます。(皆川)

『台湾旅行印象記』

酒井 清 (神戸市)

台湾旅行に行って、先ず目に入るのが、漢字の繁体字である。私が小学生であった頃を思い出し、懐かしくなる。

日本文学の研究者で著名なドナルド・キーン氏が、嘗てニューヨークの地下鉄で、漢字を見てロマンを感じたのが、日本文学を志すきっかけだったとのことだが、それがよく分かるような気がする。

その上、若者の中で、「祖父や祖母から日本語を習いました」などと云う人が多く、嬉しくなってしまう。

私は、ネイティブヘルスの企画で、これで3回台湾旅行に参加したが、毎回ごとに何か新しい発見、体感ができるのは嬉しいものである。

今回、特に感じたのは、電車、地下鉄の車内で、博愛席（シルバーシート）を私達高齢者に若い人達が積極的に譲ってくれたことだ。（前回、前々回は貸し切りマイクロバスだったが、今回は電車を多く利用したので気づいたこと）それも、何回も乗車する度に必ずといってよい程で感じがよく、つい日本での状況と比較してしまう。

普通、海外での観光旅行は名所旧跡で名高いところ、台湾では日月潭、花蓮溪谷などだが、それはそれとして、台湾の人々の気持ちに触れることのできる旅は楽しいものである。



また、烏来では、原住民の若者達のショーを観たり、一緒に踊ったり、写真を撮ったりなど楽しい一刻だったが、驚いたのは皆、西欧人のような彫の深い美貌揃いだったことだ。

博物館での原住民の祖先の写真も整った顔つきだった。刺青の習慣があったとのことだが、これは、死者が霊界に 行ったときに、祖先に巡り合うためであったとか。祖先と繋がりを大切にするのは、気持のよいものだし、彼等に幸多かれと祈りたくなってくる。

この旅行では、前回も含めて、蔡先生、彭先生、張先生、郭先生などから、「日本統治時代に日本が残してくれたものとして、公私の峻別をして行動することを教えられ、それが大変尊いものだった」とのお話を伺った。

又、前回は日本の諸先輩が、ダム建設、鉄道の建設、教育体制の整備に多大の貢献をした現場を見学したり、サヨンの鐘の記念碑

（原住民の娘サヨンが、日本人の恩師転任で離別の際に恩師の荷物を背負って、小川の丸木橋を渡る時激流に吞まれてしまう）を見学し、皆川社長の歌う「サヨンの鐘」を聴かせてもらったことなどを思い出す。

この歌は、戦前日本で渡辺はま子が歌い、いまでは懐メロで時々聞くことがあり、日本と縁の深い島との印象が強い。

16世紀半ばに、ポルトガル人が台湾を見たとき、フォルモーサ（うるわしの島）と名付けたとのことだが、深い縁だけでなく、そこに住む人達も本当に温かい人達であることを感じる事ができた。

日本では、歴史教育に不熱心であり、台湾のよさ、日本人の功績もあまり知られていないのが残念です。

よい旅、楽しい旅でした。感謝しています。

『ネイティブヘルス台湾旅行記』

福本 勇夫 (大阪市)

台湾初日は、台北到着後市内のホテルリビエラに旅行社送迎のバスで直行する。

猛暑の季節の台湾には珍しく台風が近づいているので雨が降っていた。

ホテル到着は午後5時過ぎ。しばし休憩後全員ホテルの傘を借りてホテルより徒歩10分弱の台湾料理店へ。

台湾初日のため海鮮料理をおつまみにして全員ビールで乾杯。

食後、良い気分になり希望者でカラオケバーに出かける。昭和10年代生まれが多く、昭和の歌が最も多い台湾カラオケ曲集で全員調子に乗って歌を歌い、時の経つのを忘れる。

榮治社長も3~4曲歌い、遅れて台北入りする貝沼氏を桃園空港に迎えに行くのをすっかり忘れ、気づいた時には夜12時を回っていた。慌てて榮治社長がタクシーを捕まえ迎えに出かける。我々は心配しながらもホテルに帰る。(補足：私(容子)はカラオケには行かずホテル直行、何となく気になり10時頃から何度も電話するが誰も応答なし。1時頃貝沼さんが見つからないと榮治から電話、何度も電話のやり取りしやっと1時半過ぎ出会えたと電話が有り安堵する)

翌日はホテルよりタクシーで分乗し地下鉄駅「圓山」から淡水行きの地下鉄で「台北」駅へ、台北から台鐵(台湾での日本のJRの様な鉄道)に乗り「鶯歌」(インガ)まで。

鶯歌は陶磁器の町である。

「鶯歌陶磁器博物館」見学、老街を見学しながら昼食処へ、昼食後台鐵鶯歌から台北駅に戻る。

地下鉄で圓山駅に戻り、台北では日本人に一番有名な圓山大飯店(圓山ホテル)で、日本統治時代に日本教育を受けた張文芳先生と郭振純先生の話をお聴く。

その後両先生を囲んで晚餐会。

両先生のお話は実体験談で、特に郭先生の体験は22年間緑島に隔離されたこと。戦後国民軍がやって来て親日家が政治犯とし

て連行された。また二・二八事件を淡々と話されたことに感銘する。

郭先生の話される横顔には、戦前の日本人の古武士の匂いが感じられた。氏は日本の元号で「大正14年生まれ」と西暦年号でなく大正と何気なく言われることに中国人の匂いは無く、元来の日本人として身近に感じられた。90歳を超えられているとは到底思われない親日家であり、体格は180センチ近くがっしりとした体格で、



見た目には60代に見える好漢者でもある。



一方張先生は日本統治時代に大阪の豊中に生まれ育ち、学徒動員で軍需工場働く。戦後台湾に戻り大変苦勞をなされたが、笑顔を絶やさず話される態度に、我々は日本人が持っている日本人の「心」を忘れていたと思った。

台湾で戦前の日本人に会えたことが私にとっての最大の土産である。

翌日は、原住民タイヤル族の村烏来(ウーライ)を訪ね、原住民の食事、烏来温泉にゆったりとくつろぐ。

旅行最終日には、郭先生の話に出た二・二八事件の現場と足裏マッサージに分かれる。昼食は四川料理。その後桃園国際空港より日本に全員無事に帰国しました。

今回の旅行を企画された榮治社長はじめネイティブヘルスの皆さまに大変感謝いたします。

また今回参加された皆さま、本当に親切な方々で感謝いたします。

知識(チ) からだ(カ) ころ(コ) の健康を考える人たち、仲間づくりのサロンです

月・日 時間	講師(敬称略) 演題	会費	備考
10月 1日(土) 14:30~15:30	てんご堂 雅落 「笑いで免疫UP」	会員 無料 一般 1000円	甲東園
11月27日(日) 11:00 集合	三浦 元 「射場山ハイキング」	交通費他実費	お弁当持参 下記参照
12月10日(土) 10:30~12:30	皆川 容子 「ローフードをおせち風に」 メニューは8頁に掲載	会員 1000円 一般 2000円	梅田 エプロン持参
1月28日(土) 14:30~16:00	上松 夕嘉里 「初めてのボイストレーニング & 一緒に歌いましょう」	会員 無料 一般 1000円	甲東園
16:15~18:00	指導者研修会		認定指導員

予定は、変更する場合があります。 前日までに必ずご予約してください
 問合せ・予約 電話06-4802-6880 FAX06-4802-6881

♪♪射場山ハイキング(初心者コース)♪♪

日 時 11月27日(日)
 集 合 11時 神戸電鉄「有馬温泉駅」改札口
 行 程 有馬温泉駅→有馬稲荷神社→射場山→瑞宝寺公園→有馬温泉にて解散
 案 内 三浦 元(NHあしたば会会長、三浦整骨院院長)
 気 温 市内より3~4度低温
 持参する物 お弁当(途中、購入することができます)
 解 散 後 金の湯(650円)、銀の湯(550円)、太閤の湯(2600円)でご自由に入浴
 当日6時から「グランリゾート プリンセス有馬」でNHの忘年会をします。
 宿泊(1泊2食14500円)、食事のみ(8000円)是非ご参加ください。
 申し込み ハイキング、食事の方は、11月25日(金)迄
 宿泊なさる方は 11月11日(金)迄
 申し込み・お問い合わせ ネイティブヘルズ ☎ 06-4802-6880

《射場山》

大化の改新の2年後(640年)孝徳天皇が宮殿を建てる木を探すため有馬に来る。そこで豊かに育った杉を見つけ、立派な宮殿を建てる。天皇は「この山の功績は大きい」とほめ言葉を与えたところから「功地山」と呼ばれた。その後「弓場山」から「射場山」と変化した。と伝わる

《有馬稲荷神社》

欽明天皇、孝徳天皇(630~670年代)が有馬温泉に行幸。有馬行宮の守護神として稲荷神社を勧請したのが源となる。有馬行宮跡地に鎮座し、千数百年の間皇室の崇敬厚く、慶応4年、有栖川宮織仁親王のご令旨により永世宮家のご祈願所となる。明治37年、射場山の中つ処に古長(フルオサ)大神、恒長(ツネオサ)大神の導きにより、高潔優美な霊境となす目的で、現在地に移転造営する。



《講師プロフィール》 敬称略

てんご堂 雅落 (てんごどう がらく)

本名 久志 則行 (くし のりゆき)

1963年6月5日生 兵庫県伊丹市出身

趣味 ウォーキング

1988年 笑福亭鶴瓶に入門

1999年 なにわ芸術祭落語部門 新人奨励賞受賞

関西を中心に寄席やテレビ、ラジオなどに出演

古典落語のみならず、「交通安全落語」、「アマチュア無線落語」(総務省より依頼)、「防犯落語」など新作落語にも意欲的に取り組んでいる。

また、幼稚園から高校まで幅広く落語鑑賞会をさせて頂いています。

小学校では、100校以上。

保護者対象の子育てトーク(自らも二児の父であるのでその体験談)も好評。

2016年より てんご堂 雅落 という芸名で心機一転活躍中

アドレス ; binta.nico@docomo.ne.jp

三浦 元 (みうら もとし)

1940年(昭15)九州博多に生まれる。

地元・九州大学(経済学部)卒・・・サラリーマン生活に入る。

30歳 三島(静岡)の沖正弘ヨガ道場入門(3ヶ月)。

35歳 鍼灸師の免許取得・断食道場のスタッフとなる(8年間)

49歳 柔道整復師の免許取得

50歳 三浦鍼灸整骨院開業(平成3), 現在に至る。

開業直後、患者のおぼちゃんの勧めで登山を始め、どっぷりはまる。

以降、低山を月2~3回、三千m級を年1~2回励んでる。

趣味 読書(特に中国ウオッチャー関連) 野草の育成・食用 法螺貝

基本コンセプトは「人は動物なり。食・動ともに野生に還るべし」

上松 夕嘉里 (うえまつ ゆかり)

大学卒業後、商社勤務

離職後、2010年に渡米し長期滞在。その際、マイケル・ジャクソンやスティービー・ワンダー等数々のグラミー賞受賞歌手が習ったハリウッドボイストレーニング法「スピーチレベルシンギング」と出会い、ボイストレーナーを志す。

その後、さまざまなセッション等で出会った仲間とバンド活動を本格化する。

ロック・ポップス・ジャズ・歌謡曲・演歌とジャンルにとらわれず色々なジャンルの歌を歌っています。

2014年より塚口カルチャーセンター講師

音楽活動

2013年 キャンディーズのカバーバンド柑橋Dropsで新開地音楽祭に出演

山本リンダさんの前座を務める。

2014年 日本クラウン専属作曲家 竹山荘一先生に師事。演歌歌唱法を習得。

2015年 アメリカのシンガーソングライターのカイル・ビンセント氏のオープニングアクト

及びバックコーラスを務める。

枚方市天の川たなばたフェスに出演

2016年 高槻ジャズストリートにバスマジシャンとして出演

ホームページ <http://benicia.ciao.jp>

ローフードとおせら風に

12月10日(土) 10時30分～12時30分
火を使わないお料理

《メニュー》

紅白なます
ズッキーニの梅肉鳴門巻き
アボカド茶きん絞り
味噌漬け椎茸
マッシュルームの山椒味噌詰め
山芋の磯部巻き



お正月は何かと食べ過ぎ・飲み過ぎで、からだに負担がかかってしまいます。そこで、胃腸に優しく、酵素たっぷりのメニューをご用意しました。ご馳走の中に加えてみてください。きっとからだは喜んでくれるでしょう。どれも簡単にすぐ出きるものばかりです。

《お知らせ》

◎梅田では、白井が施術します

10月1日より、NH梅田での施術は、以前のように白井ふさ隆が主になって行います。

◎皆川容子のスケジュール予定

梅田 水・金
甲東園 火・土
六甲 日・月・木

基本的には、上記の予定にしておりますが、お客様のご要望次第で動いております。



冬期休暇

12月29日(木)～1月4日(水)

但し、12月28日(水)は、甲東園の定休日です。

1月5日(木)は、梅田の定休日です。

あとがき

9月の台湾はカンカン照りの猛暑と覚悟して行きましたが、台風接近の為か、はたまた雨女のせいかわらぬ雨・雨・雨。しかし皆さまのご精進が良く、老街散策、烏来の滝、二・二八公園ではやわらかい陽差しで幸いでした。遅くに申し込まれた方には、満席になってしまい残念ながらお断りして大変申し訳なく思っています。

さて、三泊四日の旅、出だしにトラブルがあったものの無事に終了。団体旅行は全員無事に終わることが何より、参加された皆さまのおかげと感謝します。素敵な方々と同行させていただいて楽しい4日間でした。

今夏はとびきりの酷暑、今頃体はへとへとではないでしょうか。てんご堂雅落さんのお話で、うんと笑って免疫をUPさせ元気を取り戻しましょう。是非いらしてください。お待ちしております。 y m